

食育だより NO.1

のびのび

春、ひとつ大きくなったよこびで胸いっぱいの子どもたち。芽吹きの季節、園庭に出れば「せんせいカエルいた」「つくしがでてるー」とわくわくする発見もいっぱいです。

今年度も保育所での食育の取組をおたよりでお届けしていきます。「のびのび」という名前は、ひかり保育所の豊かな自然の中で、のびやかに遊ぶ子どもたちの姿と、遊びの中で食に興味をもち、体も心ものびのびと育てほしいという願いをこめました。季節を肌で感じながら、遊ぶ、食べる、生きる子どもたちの姿を、一緒に見守っていただけたらと思います。

甘草(かんぞう)という食べられる野草が園庭に生えていることを保護者の方が教えてくださいました。

調理師さんがおいしい佃煮にしてくれたよ

ちいさい子どもが食べやすい大きさにとれくらいかなあ

ひかり農園 大改革中

あたらしく畑を耕したり、肥料を入れたり、たくさん種や苗を植えたり…
子どもも職員もみ～んないつしよにわくわく開拓中です。
今後もお楽しみに…

ひかり農園長
湯谷先生です

どどんと届いた丸太と、手のひらにころんとふしぎなまるいもの…。なんとそれはしいたけのあかちゃんなんだって。保育士があけた穴のおうちにしいたけのあかちゃんをつめこんだら木づちでとんとん。はじめはおぼつかない手つきでしたが「もっとやりたい」と意欲まんまんで楽しみました。原木はただいま玄關横でおやすみ中。しいたけが出てくるのを心待ちにする子どもたちです。

でたぞでたぞ
つくしんぼ

ひかり産しいたけ
つくろう

えっほえっほ

